

A man in a dark pinstripe suit and red tie stands in a modern office hallway with large windows. He is smiling and has his hands clasped in front of him. The hallway is bright and has a blue carpet with yellow stripes.

Leveraging Our Strength for Growth

株主の皆様へ

ドコモは2008年10月、中期ビジョンを発表し、「2010年度 お客様満足度第1位」、「2012年度 営業利益 9,000億円以上」を目指して「変革とチャレンジ」への取り組みを宣言しました。その中で2009年度は「弾込めの年」と位置づけ、携帯電話事業以外の新たな収益源の創出に向け、新たなサービスの立ち上げ・種まきを重点的に行った1年でした。そして、全社員が一丸となってお客様満足度の向上に向けた取り組みを強化した結果、年間純増数1位を獲得することができるなど、中期ビジョンの達成に向けて改めて手応えを感じた1年でもありました。

2009年度の業績は、3年連続の減収増益となりましたが、2008年度に導入した新たなビジネスモデルの定着による音声収入の減を、ネットワーク関連コスト等の費用の削減努力によってカバーするという当初の想定どおりに事業を進めることができました。2010年度も新たなビジネスモデルの影響が続くことを受けて減収を見込んでおりますが、パケットARPUの向上等に努めることで、減収額は2009年度に比べ大幅に縮小する見込みです。また、コスト効率化も引き続き推進することで増益を確保したいと考えております。なお、中期的には更なるパケットARPUの向上や新たな収益源の創出に努めることで、増収増益への転換を目指したいと考えております。

今後も更なる企業価値の向上を目指し、持続的な成長に向けて着実に前進していく所存です。株主の皆様への利益還元については、従来から経営の重要課題と位置づけており、中期ビジョンで示した営業利益目標の達成状況を見ながら、前向きに検討していきます。特に配当については、国内トップレベルの配当性向を維持しつつ、安定的な配当の実施に努めていきます。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

山田 隆持